

2 集中改革プランの内容

(1) 事務事業の改革

事務事業の再編・整理、廃止・統合

ア 基本的な考え方

限られた財源の中、時代の変化に伴う町民ニーズに的確に対応していくために、現行の事務事業について、公と民の役割分担のあり方、受益と負担の公平確保、費用対効果、効率性の観点など、幅広い観点から精査し、選択と重点化を図るとともに、既に初期の役割を終えていると考えられるものは廃止・縮小し、類似する事業は統合を図る等見直しを行い、事務事業の整理合理化を進めます。

イ 手続及び体制

見直しの手続き

現在、次のサイクルで事務事業の見直しを行っています。



高千穂町行政改革大綱(第四次)示された実施計画を具体化するため、これに基づいた予算編成・執行が行われています。また、事務事業の実施状況を把握して事務事業評価を行い、次の実施計画に反映させています。

評価にあたっては、次の五つの観点から事業内容を精査し、事業の廃止、縮小、統合などの見直しを図っています。

事業の意図

現在までの変化はあるか。

対象者の意見はどうか。

行政が関与することの妥当性はどうか。

成果向上の余地はあるか。

見直しの体制

現在、事務事業の評価については、各課で論議検討の後、行政改革実施委員会に諮って進行管理に努めております。

行政改革実施委員会(委員長: 助役、 構成員: 全課長)

ウ 行政評価を活用する仕組の導入の有無、その概要

現在まで、各課の事務事業について、試行的に事業体系・業務内容・業務量の把握、行政評価に関する学習会、専門家による研修会を実施しており、個別の行政課題につきまして行政評価を導入して施策に活用しておりますので、今後も具体的な行政課題の解決に導入して取組を行います。

エ 外部の意見を取り入れる仕組の導入の有無、その概要

現在、外部の意見を取り入れる仕組は導入していません。
地区別行政説明会を開催する等、必要時機により町民の皆さんの意見を反映できるような機会を設置する等検討を行う予定としています。

オ 実施内容

(再編・整理する事務事業の考え方)

事務事業を実施する際の手続きやプロセスを省略したり、やり方を変えることによりコストや時間を削減できる業務等。

(廃止する事務事業の考え方)

社会情勢の変化により、必要性が低下しているもの。
事務事業に対するニーズが低下しているもの。

負担金及び補助金等

行政改革の推進のため、本町では既に平成15年度より大きな補助金等の整理合理化に取り組み効果を出していますので、それについて記載しておりますが、今後も引き続き補助金等の整理合理化に取り組んでまいります。

【再編・整理】〔平成17年度～平成21年度 効果見込額 152,000千円〕

	取組業務名	所管課	取 組 内 容	効果見込	年度目標				
					17	18	19	20	21
1	単独補助金の見直し	全 課	平成16年度より単独補助金の見直し及び10%カット	効果見込額(5年間) 約152,000千円	継 続	継 続	継 続	継 続	継 続

【廃止】（平成17年度～平成21年度 効果見込額 187,000千円）

	取組業務名	所管課	取 組 内 容	効果見込	年度目標				
					17	18	19	20	21
1	神話の里フェスティバル推進協議会補助金廃止	企画情報課	平成15年度より関係機関と協議の上、補助金廃止	効果見込額(5年間) 約115,000千円	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止
2	生活路線バス運行費補助金廃止	企画情報課	平成16年9月30日ふれあいバス運行により補助金廃止	効果見込額(5年間) 約72,000千円	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止

その他の事務事業

行政改革の推進の中で、継続的に整理合理化を目指して事務事業の再編・整理・廃止等を見直していきます。